

埼玉県の体操の課題・現状

体操専門部 県立戸田翔陽高等学校 山口裕

1, 課題

- 指導者の高齢化・減少
- 体操部の少ない地区がある。 など

いろいろな課題があるが今回は上記の課題を取り上げたい。

教員採用の減少・長年指導に携わっていた方の退職や体操専門部加盟校だが部員不足の為に試合に出場できない伝統校も発生してきた。

北部地区では中学の体操部は比較的活発であるが、受け入れる高校があまりないのが実態である。北部の伝統校の本庄などは最近の試合に出場できなかつたり、騎西高校の廃校などはとても残念である。

2, 女子体操部員の形態

- ①高校に入学して体操を始める生徒
- ②中学から部活動で始めて高校でも続ける生徒
- ③ジュニアクラブで練習していた生徒が高校の部活動に入部する（学校で練習）
- ④ジュニアクラブで継続して練習（クラブで練習）

埼玉県は体操が非常に盛んな地域でオリンピックを目指す者から高校から体操を始める者と様々である。体操の人口を増やすために①②を活性化し、競技力向上のためにも③④も力を捧げなければならない。

3, 本校（戸田翔陽）の現状

本校は上記の「④ジュニアクラブで継続して練習（クラブで練習）」にあたる学校である。隣接している戸田市スポーツセンターのクラブの生徒が入学し、入学後もクラブで練習をしている。

長所としては小学校のころから継続して指導しているので数年後の見通しをもって指導できる。

問題点としては○複数のジュニアクラブが入部した際にはどうするか○クラブとの連携の方法など難しい面もある。